

地域大学の理念

◆地域大学の理念・目的

【理念】西九州大学および西九州大学短期大学部は、教育・研究の地域志向化を通して地域の課題を解決することをめざします。そのために、両校は、開学以来の健康と福祉の理念を発展的に受け継ぎ、「地域に生活する人々への様々なかたちでの支援（生活支援）」を科学し、実践する高等教育機関として、全学的な教育、研究ならびにそれに基づく地域連携・貢献活動を展開していきます。ひとことで表わせば「地域に学び、地域とともに歩み、発展する高等教育研究機関」をめざしているのです。ここでいう地域とは、佐賀のみならず県域を越えた九州、さらにはアジアを中心とする世界に開かれた地域です。また、ここでの活動とは、グローバルな視点から地域を俯瞰し、世界と日本をつなぐグローバルな連携活動を意味しています。

【目的】西九州大学および西九州大学短期大学部は、グローバルな視点をもって地域活性化に寄与することのできる専門職業人を養成することを人材育成の目的としています。

◆グローバル化の目標

「あすなろう精神」に裏打ちされた人間力を備え、「つながる社会」を志向し、地域と世界とを横断するグローバル人材を育成するために、

- ①母校愛、郷土愛の涵養
- ②自国文化の理解、異文化の理解・受容
- ③グローバルな文脈から地域を俯瞰し、地域を志向し活動できる資質・能力の涵養を行います。

◆教育の目標

地域を理解し、諸課題に対して主体的に取り組む姿勢をもつ、地域志向専門職業人を育成するために、

- ①地域志向教育の体系化
 - ②地域課題を解決に導く実践的研究に基づいた教育活動の推進
 - ③入試制度の抜本的改革
 - ④教育・学修内容の公開
 - ⑤学生の学習意欲を喚起し、主体的学修態度を涵養する教育形態（アクティブラーニング）の常態化
 - ⑥学修成果の可視化など、学修評価システムの整備に基づいた学修 PDCA サイクルの確立
 - ⑦教育に関する大学資源の選択と集中
- を行います。

◆研究の目標

生活支援科学の視点から地域社会の未来を切り開き、佐賀、九州そしてアジアの諸地域の課題を解決へ導く独創的かつ実践的研究を推進するために、

- ①少子高齢・人口減少社会を生き抜く新しい価値観・社会システムの創成
- ②地域社会への大学の保有する研究成果・人材・施設等の積極的提供
- ③地域課題を解決に導く実践的研究の推進
- ④教育・研究への学生および地域人材の積極的参画
- ⑤研究に関する大学資源の集中と選択
- ⑥アジア諸国との教育・研究活動の内容や方法、実践事例等の情報の共有を行います。

◆地域連携・貢献活動の目標

地域志向大学像を革新する新しい大学の仕組みを創成し、地域連携・貢献活動を進展させるために、

- ①専門職現場をはじめとする地域社会との多角的・重層的関係性の構築
- ②地域再生・活性化に資する教育研究活動への積極的転換
- ③社会に対する説明責任の徹底化を行います。

[理念作成に至る背景説明と用語の解説]

西九州大学の「地域大学宣言」にもとづき、その理念を作成しました。作成にあたり、これから30年先（西九州大学グループ創立100周年の節目に当たる）を展望して大学のあるべき姿を想定し、大学が担う諸活動面での目標を示しています。

- ・グローカル化・・・グローバル（global）とローカル（local）の2つの言葉の合成語（glocal）。世界的な視点から地域を俯瞰し、地域視点に基づいて世界と日本をつなぐ活動を意味しています。俗にいう、「地球規模で考えながら、自分の地域で活動する。」（Think globally, act locally.）とも関連する言葉。
- ・つながる社会・・・これから30年後、社会は組織間で人やモノ、様々な価値が相互往来する時代がさらに進んでおり、それには有限な人的・社会的資源を連続的にそして効率的に活用できる社会の創出をめざす必要があります。それを、私たちは「つながる社会（ネットワーク社会）の創出」と呼んでいます。そのような中、西九州大学・同短期大学部は、「地域とつながり、地域とともに生き、世界へつながる大学」を通して、つながる社会の実現をめざしたいと思います。
- ・アクティブラーニング・・・「能動的な学修」のことで、授業者が一方向的に学生に知識伝達をする講義スタイルではなく、ディスカッションやプレゼンテーションなど、学生の能動的な学修を取り込んだ授業の総称。アクティブラーニング型教育とは学生の学習意欲を喚起（刺激）する教授法のこと。